

平成23年10月26日

産業復興支援型の被災地ボランティア活動を実施

～ 気仙沼市・唐桑地区の養殖産業の事業再興を支援 ～

東日本大震災により被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

第一生命保険株式会社（社長：渡邊 光一郎）では、東日本大震災発生以降、被災地復旧に向けた職員の派遣や職員のボランティア活動参加への支援等を通じて、被災地支援に取り組んできました。

今回、気仙沼市唐桑地区において、産業復興支援型の被災地ボランティア活動を実施します。気仙沼市唐桑地区はカキやホタテ、ワカメの養殖業が盛んな地域であり、重要な収入源となっていますが、地震に伴う津波により養殖用のインフラが壊滅的な被害を受けています。カキやホタテは再開から出荷までに2年を要することから、養殖業関係者の皆さまの生活基盤を立て直すためには、養殖用のインフラの一刻も早い復旧が必要です。

そこで当社では、このような被害からの復興を目的として地域住民の皆さま・漁業組合・観光協会等により結成された「気仙沼市唐桑地区復興支援協同体」とともに、養殖業関係者を支援するためのボランティア活動に取り組むこととしました。具体的には、被災された養殖漁業者の方々のご指導のもとで、養殖用のいかだの組上げやいかだ固定用の土嚢作り、カキやワカメの種付け（ロープにカキやワカメを吊るす作業）等を行う予定です。

10月27日より3クールに渡って実施する予定です。各クール20名程度を社内で公募することとし、60名程度の職員が参加します。

当社では今後も地域社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。

<実施概要>

(1) 活動場所

宮城県気仙沼市唐桑地区

(2) 活動内容

地域住民・漁業組合・観光協会等が組成した「気仙沼市唐桑地区復興支援協同体」が受入先となって、養殖業関係者を支援するためのボランティア活動を行う。

具体的には、被災した養殖漁業者の指導のもとで、カキやワカメ等の養殖用のいかだの組み上げやいかだ固定用の土嚢作り、カキやワカメ等の種付け（ロープにカキやワカメ等を吊るす作業）等、参加可能な活動を行う。

(3) 実施時期（予定）

第1クール 10月27日（木）～10月29日（土）

第2クール 11月 3日（木）～11月 5日（土）

第3クール 11月10日（木）～11月12日（土）

各クール20名程度参加予定で、会社が一部経費負担を行う。

以上